

学校図書館委託事業者 取組と成果

事業者名 (株) 図書館流通センター

対象	これまでの取組	成果等
1年生～ 6年生	<p><u>本の宅配便</u></p> <p>「子どもたちの身近に常に本を置く」ことを目的に、学校図書館の蔵書から学級文庫用に本を厳選し、「本のたくはいびん」として各クラスに設置、定期的な入れ替えも行った。</p>	<p>図書館をあまり利用しない子どもたちも気軽に本を手にする機会が増えた。</p> <p>また、先生方が自分のクラスにあった本を選書するといった動きも見られた。</p>
	<p><u>学校独自のおすすめ本</u></p> <p>図書担当の先生が中心となり、おすすめ本のリストを作成。全校児童に配布。学校図書館でも、「おすすめ本コーナー」を設置し、アピール。</p>	<p>本選びに迷った子どもたちが、おすすめ本を手にする姿が見受けられた。</p>
	<p><u>貸出冊数グラフの掲示</u></p> <p>子どもたちの読書意欲を掻き立てるために、貸出冊数をクラスごとにまとめてグラフ化。</p>	<p>子どもたちが楽しめるように、「宝島めざして船が進む」様子をグラフにしたところ、子どもたちだけでなく、先生方の関心も高かった。</p>
	<p><u>公共図書館と合同スタンプラリー</u></p> <p>「昔話で世界を回ろう」をテーマに、学校図書館と地域の公共図書館が合同でスタンプラリーを実施。</p>	<p>学校図書館にはない昔話の本を求め、公共図書館にも足を運ぶ子どもたちの姿が見受けられた。全クラスで取り組んだ学年もあり、学校図書館・公共図書館ともに貸出増につながった。</p>

7年生～ 9年生	<p><u>移動図書館</u></p> <p>学校図書館のロケーションが悪い学校では、昼休みに生徒の近くの空き教室を利用して図書館が出張。学校図書館の蔵書を展示、貸出を行った。</p>	<p>あまり図書館に足を運んだことのない生徒たちも気軽に立ち寄ってくれ、貸出につながった。</p>
	<p><u>図書館マイレージ</u></p> <p>「図書館は来るだけで楽しいところがある場所」と思ってもらうことを目的とした企画。</p>	<p>入室ごとにマイレージがたまるというルールのもと、期間を設定しクラスごとにマイレージを競うもので、企画のゲーム性も生徒たちに支持され、多くの生徒が参加、貸出も伸びた。</p>
	<p><u>電子書籍による朝読書</u></p>	<p>試験的に導入された電子書籍による朝読書だったが、生徒たちの関心は高かったと、先生から聞いている。ただ、今回利用したサイトはコンテンツが少なかった。生徒たちの興味を引くコンテンツが多くあれば中学生の読書への導入口として有効と思われる。</p>
	<p><u>1UP上をめざせ!</u></p> <p>ジャンル別に段階に応じた本を紹介。階段上のレイアウトで本を紹介する。</p>	<p>階段上のレイアウトで本を紹介することにより、自分が今まで読んできた本から、次に1段階アップした本に出合うきっかけ作りをした。文学だけではなく、「スポーツ」や「アート」もテーマとしたので、多くの生徒たちの注目を集めた。</p>
共通	<p><u>居心地の良い図書館空間作り</u></p> <p>図書担当の先生から中学生が寛げる場所、気軽に本に親しめる場所を作りたいとのご要望を受け、学校と協力のもと作り上げた。レイアウト変更で、椅子の設置や装飾で子どもたちがリラックスしてほっと一息付ける空間を図書館内に作る工夫をした</p>	<p>多くの子どもたちが楽しそうにベンチに座って読書する姿を見るようになった。小学生よりも中学生に対して効果があった。特に男子中学生が図書館に足を運ぶようになったとの報告も受けている。</p>